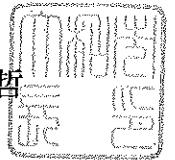


平成28年 1月14日

厚木基地爆音防止期成同盟
委員長 大波 修二 様
第四次厚木爆音訴訟原告団
団長代行 金子 豊貴男 様
原子力空母の母港化に反対し基地のない
神奈川を目指す県央共闘会議
共同代表 高久 保 様
神奈川平和運動センター
代表 福田 護 様
オスプレイと飛行訓練に反対する東日本連絡会
代表世話人 湯浅 一郎 様

大和市長 大木 哲



日頃から、本市行政の運営にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申しあげます。

先にお受けいたしました要望につきまして、次のとおり回答いたします。

平成24年10月に米海兵隊MV-22オスプレイが普天間基地に配備されて以降、演習や展示の名目で全国各地への展開がみられており、厚木基地につきましても、一昨年7月以降、数度にわたり飛来しました。

昨年5月に発生したハワイでのオスプレイの着陸失敗事故につきましては、昨年11月に米海兵隊から事故調査完了についての発表があり、当該事故は設計上想定されている以上の砂塵の中で発生したもので、パイロットが適切に意思決定していれば、深刻な事態を回避できた人的要因によるものであったとされております。

国は、機体の設計に根本的欠陥はなく、国内に配備されているオスプレイを含め適切な再発防止策がなされており、より一層安全に運用されていくとの考え方を示しておりますが、本市といたしましては、こうした事故が決して起こることがないように、改めて航空機の安全対策の徹底などを求めたところです。

昨年9月以降、厚木基地へのオスプレイの飛来情報はなく、また国からは、国内では砂塵の中で飛行訓練を行う計画がない旨を米側から聞いているとの説明がございましたが、本市といたしましては、今後も県や周辺市と連携しながら、国に対し丁寧な対応を求めるとともに、ハワイでの事故調査結果を踏まえた米軍等の対応や、日本国内でのオスプレイの運用等について、市民への影響等の観点から引き続き注視してまいります。

事務担当：基地対策課 電話 260-5310
「陳情・要望」受付担当：広報広聴課 電話 260-5124

座広収陳第27-36号

平成27年12月24日

厚木基地爆音防止期成同盟

委員長 大波 修二 様

第四次厚木爆音訴訟原告団

団長代行 金子 豊貴男 様

原子力空母の母港化に反対し基地のない神奈川を目指す県央共闘会議

共同代表 高久 保 様

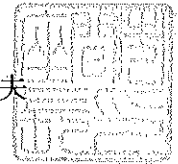
神奈川平和運動センター

代表 福田 護 様

オスプレイと飛行訓練に反対する東日本連絡会

代表世話人 湯浅 一郎 様

座間市長 遠藤 三紀夫



時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃から、市政の推進にご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

先般いただきましたご要望「米軍機オスプレイの配備と飛行に関わる要請書」については、次のとおり回答いたします。

オスプレイの配備については、国の専管事項であり、国の責任において十二分に安全性の検証がされることを前提として運用されるべきものです。現在、国に情報提供を求めているところであり、今後も引き続き、県や基地関係11市と連携し、国の責任において迅速かつ正確な情報提供や丁寧な説明を行うよう強く求めてまいります。

事務担当：特定政策推進室

広聴担当：市民部広報広聴人権課

広聴電話：046-252-8146 (直通)

F A X : 046-252-0220

海地要収 27-28
平成27年12月 7日

厚木基地爆音防止期成同盟
委員表 大波修二様
第四次厚木爆音訴訟原告団
団長代行 金子豊貴男様
原子力空母の母港化に反対し基地のない神奈川を目指す県央共闘会議
共同代表 高久保様
神奈川平和運動センター
代表 福田護様
オスプレイと飛行訓練に反対する東日本連絡会
代表世話人 湯浅一郎様

海老名市長 内野



要請書について(回答)

このことについて、下記のとおり回答いたします。

〔件名〕米軍機オスプレイの配備と飛行に関わる要請書

記

〔要請事項〕

米軍機オスプレイの配備と飛行に関わる要請について

〔回答〕

オスプレイの運用については、日米合同委員会で合意しているとともに、外交、国防に関することであり、国の責任において対応していただくものであります。

しかしながら、市といたしましても市民の不安を可能な限り取り除き、安心して生活をしていただけるよう、神奈川県や基地周辺市とともに国に対し、「未だ多くの住民の不安が払拭されていないことを十分認識し、国の責任において、自治体や住民に対して丁寧かつ具体的な説明を行うこと」と要請したところでございます。

市は今後も神奈川県及び厚木基地周辺自治体と連携し、根本的な課題である航空機騒音の解消に向けた取り組みを進めるとともに、米軍機オスプレイの配備と飛行について、市民が安心して生活ができるよう国に対して粘り強く働きかけてまいります。

事務担当：市民協働部地域自治推進課

2016年(平成28年)2月19日

厚木基地爆音防止期成同盟

委員長 大波 修二 様

第四次厚木爆音訴訟原告団

団長代行 金子 豊貴男 様

原子力空母の母港化に反対し基地のない神奈川を目指す県央共闘会議

共同代表 高久 保 様

神奈川平和運動センター

代表 福田 護 様

オスプレイと飛行訓練に反対する東日本連絡会

代表世話人 湯浅 一郎 様

藤沢市長

鈴木 恒



「米軍機オスプレイの配備と飛行に関わる要請書」について(回答)

日頃から市政にご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、いただきました「米軍機オスプレイの配備と飛行に関わる要請書」について、回答いたします。

オスプレイの配備については、国の安全保障及び平和と安定のため極めて重要なものであるという判断のもと日米合同委員会において合意されており、その運用等については国の責任において対応されるものと認識しております。

しかしながら、2014年(平成26年)7月以降、数回にわたり厚木基地に飛来し、市内各所においてもオスプレイの飛行を確認しております。当市では国に対し、未だ多くの住民の不安が払拭されていないことを認識し国の責任において具体的な説明を求めるとともに、これまで住民が負ってきた基地負担の実情を十分認識しこれ以上の負担が生じないように納得できる対応を求めています。

今後も当市では、オスプレイ等米軍機の飛行に関する情報提供を求めるとともに、厚木基地周辺の航空機騒音問題の一日も早い抜本的な解決に向け、県及び関係各市とも連携しながらこの問題に対し粘り強く取り組んでまいります。

以 上

(事務担当) 企画政策部 平和国際課

電話 0466-25-1111

内線 2162